ふれあいネットワーク

平成29年10月

51

なんぶ 社会福祉だより

南部町子育て総合支援センターのびのび 夏まつり

南部町子育て総合支援センター「のびのび」では七月二十八日、夏祭りを開催しました。

くじびき・ヨーヨーつり・魚つり・トンネル・ボールプールを楽しみました。笑福会の皆さんによる「ひょっとこ踊り」もあり、とても盛り上がりました。

南部町社会福祉協議会
本　　所　〒683-0351 法勝寺331-1　TEL 0859-66-2900
会見支所　〒683-0227 浅井938　TEL 0859-64-3515

なんぶの町を良くするしくみ

「赤い羽根共同募金運動」が今年も始まりました!!

募金期間：10月1日～12月31日

今年も10月～12月までの間、全国一斉に共同募金運動が実施されます。
昨年度（平成28年度）は、計2,939,252円の募金を皆様よりお寄せいただきました。ありがとうございました。

戸別募金（赤い羽根＋歳末）	2,379,640 円
法人募金	283,000 円
職域募金	126,545 円
学校募金	21,203 円
街頭・イベント・その他募金	128,864 円
合　計	2,939,252 円

今年度の南部町の目標額　2,850,000円

この募金のうち**約70％**の金額が南部町の地域福祉活動費として還ってきます。
また、**３％**は災害等準備金として積み立てられ、災害救助法が適用された市町村等の災害ボランティアセンター運営等に助成されます。平成28年に発生した鳥取県中部地震の際にも鳥取県、倉吉市、北栄町、三朝町に助成されました。

今年も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

平成28年度南部町で実施された助成事業の一部

ふれあいクリーンウォーク

南部町ボランティア連絡協議会

高齢者集いの場「だんだん」

円山区「だんだん」

元気いきいきふれあい交流事業

赤谷区

夏休みボランティア体験

南部町社会福祉協議会

平成29年度 県民総合福祉大会

本会が推薦し受賞された皆様を紹介させていただきます。
永年にわたる福祉活動に対しまして、心から感謝申し上げます。

≪鳥取県知事表彰≫

ボランティア功労（団体）

団体名
南部町赤十字奉仕団

福祉に対する鳥取県民の理解を深めるため、９月１日（金）、県民総合福祉大会が倉吉未来中心（倉吉市）で開催されました。本年度は民生委員制度１００周年を迎え、住民の身近な相談相手・支援者として活躍する民生委員の更なる活動発展を目指す記念大会としての開催でした。

開会式後、永年ボランティア活動にご尽力された方々の部門ごとの表彰がありました。

表彰式のあとには、シニアバンク「生涯現役」の登録者によるアトラクション、「澤田勝のサックス歌謡ショー」、TVでもおなじみの人間性脳科学研究所　所長澤口俊之氏による「夢をかなえる脳」と題した記念講演、民生委員・児童委員の活動発表など、盛りだくさんの内容でした。

また、会場内フリースペースでは健康コーナー、福祉の店コーナーなどが設けられ、大会の盛り上げに一役かっていました。

南部町より参加された皆さん

≪鳥取県社会福祉会長表彰≫

ボランティア功労（個人）

氏　名	所属
岩本　榮子	地域福祉委員
岩田　三夫	地域福祉委員
長尾眞由美	地域福祉委員
小倉　榮子	愛の輪協力員
亀尾　弘子	愛の輪協力員
都田　吟子	会見調理ボランティアグループ
井塚　敏子	会見調理ボランティアグループ
板持　瑞枝	会見調理ボランティアグループ
中曽　武子	会見調理ボランティアグループ
井田　栄子	会見調理ボランティアグループ
泉　　幸子	西伯調理ボランティア
岡田　典子	花一輪の会
宇田川維子	花一輪の会
岩佐　和子	花一輪の会
梅原美保子	花一輪の会
角田　敦子	おはなし・ドン
小早川徹栄	会見配達ボランティア
玉木　久之	会見配達ボランティア
仲田　良衛	西伯配達ボランティア
秦野　俊美	西伯配達ボランティア
景山二三枝	西伯配達ボランティア
杉本　光昭	西伯配達ボランティア

（敬称略）

夏休みボランティア体験

『夏休みボランティア体験』に小学生（5・6年生）19名、中学生　82名の参加がありました。

児童福祉施設体験

保育園での体験は、着替えのお手伝いや検温などをさせて頂きました。

学童ではお兄さん、お姉さんは大人気！元気に遊んだり、行事のお手伝いをさせて頂きました。

障がい者福祉施設体験

作業のお手伝いや、行事の準備など真剣に取り組みました。

高齢者福祉施設体験

利用者の方と触れ合うことができました。

在宅福祉サービス体験

さまざまなメニューを体験しました。介助される体験では発見の連続でした。

ご協力いただいた法人・施設

- ○ 伯耆の国
- ○ 西部やまと園
- ○ 祥福園
- ○ わかとり作業所
- ○ さくら保育園
- ○ つくし保育園
- ○ あいみ児童クラブ
- ○ ひまわり学級

大変お世話になりましたありがとうございました

夏休みボランティア体験 修了者

小学生は2日間、中学生は3日間の体験を修了した皆さんに修了証をお渡ししました。また、今年初めて参加して頂いた修了者には10月22日（日）に開催する「南部町ボランティアフェスティバル」で小学生は6級ヘルパー、中学生は5級ヘルパーの認定証が手渡されます。

法勝寺中学校

1年生	谷本　凜	山下　にこ	青砥　美優	猪原穂乃花	潮　彩華
	須山　晶	吉田　彩夏			
2年生	大江　玲奈	細田　都	赤木　冴加	岩田瑠希凪	門脇　理莉
	斎木　優	高木　理奈	田子　真優	西田　楓花	藤田　哲平
	本条　瑛斗	本間　汐莉	松本　華穂	山岡彩理菜	米田愛々佳
3年生	植田　成美	塚田くるみ	遠藤　南菜	青砥　美友	秦野　知都
	分倉　望侑	山根茉優花	山本　美咲	荒木　媛花	石田　遥香
	田宮　美羽	足立　愁	安東　祥汰	石田　新	乾　賢人
	岡田可南子	亀尾　光	亀田　翼	種　悠音	舩原　萌愛
	森糸　真尋				

南部中学校

1年生	芝田　涼夏	米原　史華	潮　愛莉咲	土手口來瞳	岩田　翔太
	梅原　萌	小谷　隼人	内藤　すず	中前颯一朗	新井　櫂
	新井　紀香	小林　世尚	森本　哲星	森本　哲太	山地まいは
2年生	馬場　雄大	岡田　七海	佐藤　真名	妹尾　藍	福本　優里
	赤井　翔稀	赤井　美羽	井田虎司朗	岩本　慧	亀井　慎都
	雑賀　妃菜	仲田ひまり	長谷川このみ		
3年生	玉川　千昴	新井　菜月	尾見　汐音	山地はるひ	遠崎　青空
	雑賀　優奈	田村　向葵	當別當詩織	濵田　斗我	湊　莉香

会見小学校

5年生	瀬尾　空良	
	山中こころ	
	影山　梨乃	
6年生	杉原　日花	
	内藤　彩乃	

会見第２小学校

5年生	北野　陽菜	
6年生	北野　桃花	
	宮本　萌愛	
	福本　隆斗	

西伯小学校

5年生	青砥　亘佑	
	須山　桜	
	青砥　光里	
	前田　果奏	
	井畑　未来	
	森　奏恵	
	大久保七海	
6年生	川﨑　柚	
	前田　真凰	

あっちも
こっちも
おおにぎわい

いきいきサロン

いきいきサロンあすなろ早田

代表　遠藤　佐恵子

早田地区は現在、“高木”と“遠藤”の２姓16世帯42名が住んでいます。子どもは中学生１名、高校生１名、50歳以上の人がほとんどで、過疎化が進み、空き家も増えましたが、のどかで住みよい集落です。

４年前に若い世代（40～60代）の女性10名で結成した“女性会”があり、夏祭りの話し合いや、いきいきサロンの年間活動計画を立て、活動にも参加しています。担当者は、地域福祉委員と相談し、日程や詳しい内容を決め、出欠確認、買い物や準備、当日の進行も行います、新しい情報があれば活動に組み込むこともあります。

バス停横花壇の草取り

いきいきサロンあすなろ早田は女性会メンバーも加わり15～20名が参加しています。年３回実施している草取りは２時間以上かかりますが、皆さん熱心で予定時間より早く始まり、人数も多いです。

食後は残りたい人が残り、２時間程度雑談をしますが、昔のこと、家のことなどワイワイガヤガヤ、笑いも絶えません。

「明日からまた、元気でがんばらいやぁ」と解散。

支える側の女性会も年を重ねていきますが、サロンのメンバーが「行ってみようかな」と思って頂けるような楽しい活動を続けていきたいと思っています。

地区別地域福祉委員連絡会を開催しました。

本会が委嘱する地域福祉委員の皆様にお集まりいただき、社協の事業説明や高齢者世帯等への懐中電灯配布事業等による日常的な見守り活動への協力依頼、また民生児童委員の皆様にもご出席いただき、地域の中での情報や意見の交換等をしていただきました。

地域福祉委員の役割（地域福祉委員設置要綱より）

① 地域における福祉に関する問題や要望の把握に努めるとともに、福祉に関する問題や要望を把握したときは、民生児童委員または社会福祉協議会に連絡する。

② 社協や民生児童委員、あいのわ銀行協力会員、区長をはじめとする近隣住民や地域振興協議会等住民組織と協力し、住民同士の助け合い活動を促進し、地域の福祉活動の担い手となる。

③ 地域内における福祉活動への協力者、ボランティアの養成に努める。

④ 福祉制度や施策の内容などについての情報を地域住民に周知するよう努める。

⑤ 地域福祉委員として知り得た情報については秘密を厳守する。

九州北部豪雨ボランティア隊

九州北部豪雨災害の被災地支援を行うため、鳥取県社会福祉協議会により災害ボランティアの募集があり、南部町より種治孝氏、森岡重信氏の２名が参加されました。

ボランティア体験雑感

７月５日からの連続降雨による九州北部の豪雨災害について、鳥取県社会福祉協議会の呼びかけに応じて「災害ボランティア隊」に２度にわたり参加しました。第１回目は７月18日から３泊４日でした。地域の副区長さんの案内で前夜の降雨で泥水が流れる道路を被災家屋まで移動しましたが、脇では自衛隊の皆さんが不明者の捜索中であり、空き地は除去土と流木の集積の山で先が見通せない状態になっておりました。床の上の土砂を取り、座板・根太を外して床下いっぱいに溜まった数十センチの真砂土やヘドロの搬出に取組みました。真夏日の中でタイムキーパーを置き、10分おきに休憩を取る作業の繰り返しです。

第２回目の出発はちょうど１か月後の８月18日からの３泊４日で同じ朝倉市。護岸が消えてしまった荒れた川筋に目を奪われながら山沿いの道を進んだ先の30軒余りの村落で、奥から３軒目が我々の担当宅で、少し上がった道路肩には先人先達慰霊之碑が建ち、生花が供えてあり、犠牲者が出なかったのは積み重ねられたノウハウが？と感じました。土石流の洗礼を受けた家具や衣類はすべて処分済みで、田の字型の部屋に２班に分かれて床下の泥出しは馴染の作業。２日間通い、作業結果を図面に残し社協に託し引き継いで帰路につきました。

今回の募集は19名でしたが、南部町からは小生と前回から参加いただいた森岡氏の２人で、11名が連続参加者でした。大山町以西では米子・境港が各１名しかなく一定の評価ではと自負しております。前回の募集では38名に対し33名の応募結果であり、自治体ごとの温度差も感じます。数十年に一度と言われながら毎年何処かで激甚災害が発生し、都度対策本部や避難所、ボランティアセンターの立ち上げが混乱する様をたくさん見てきました。時間とともに役場や社協の職員も代わりますが、練り上げた手順書さえ引き継がれて居れば体制立ち上げも可能と思います。民主主義・自由主義・個人主義と上手に使い分ける世相ですが、復旧ボランティアは体力と意欲さえあれば誰にでもできます。但し、定められた参加費の負担と飲食・服装他の準備品を含めて自己責任・自己完結が条件で、クルーメンバーは一期一会で終わるだけです。募集案内があれば勇気を出してスイッチを入れませんか。　（防災士　種 治孝）

配食サービス食品衛生講習会を開催しました。

配食サービスは、調理ボランティアのみなさんが高齢者の方が食べやすいよう工夫した手作りのお弁当を作り、配達ボランティアの方々が「お元気ですか？」と声をかけ、安否確認を行いながら届けて下さっています。

今回は調理ボランティアさんを対象に、食中毒や感染症を予防し、安全でおいしいお弁当を食べて頂くための衛生管理を目的とした内容で食品衛生講習会を開催しました。当日は西伯・会見の調理ボランティア35名の参加があり、熱心に受講していただきました。

講習会内容（開催日：７月３日(月)）

講義

「食中毒発生防止」について

西部総合事務所　生活環境局　生活安全課　　竹歳悠希 氏

実習

「配食サービス調理時の衛生管理の実践」

南部町　健康福祉課　管理栄養士　村上康恵 氏

ありがとうございました

（平成29年8月31日受付まで）

頂戴しました寄付金は、地域福祉委員の活動費・なんでも相談所開設経費・いきいきサロン活動助成金・地域振興協議会への助成金など、地域の福祉活動の財源として活用させていただいています。

香典返し

（敬称は省略させていただきました。）

寄付者名	集落名	故人名	金額
岡田明志	上阿賀	幸子	金一封
精山潔	下阿賀	静枝	金一封
細田一榮	福頼	美千代	30,000
高木守	早田	公枝	金一封
佐藤裕毅	天萬１番組	大津留ミヤ子	金一封
天野英雄	下阿賀	展光	金一封
瀬尾敬	猪小路	哲勇	50,000
細田昌彦	長田	稔	金一封
三原憲司	三崎	千代江	金一封
小向井博紀	谷川	通昭	金一封
伊藤静也	天萬２番組	壽美子	金一封
山本令子	市山	健樹	金一封
三好智恵美	下阿賀	三好泰治	金一封
遠藤吉夫	早田	ツヤコ	金一封
亀沢登代志	福頼	壽子	100,000
潮進	天萬１番組	壽子	金一封
頼田孝男	縄平	ゆき江	金一封
赤井誠	朝金	進	金一封
桑名範夫	坂根	近子	金一封
田中弘司	小原	富	金一封
濵田智	三崎	薫	金一封
岩田敏子	西原	律子	金一封

見舞い返し

寄付者名	集落名	金額
岡田幹子	市山	金一封
梅原勝利	御内谷	金一封

◎ご寄附の際に、広報紙への掲載を同意された方のみ載せています。
◎寄附金額等の記載につきましては、寄附者ご本人の意思によるものです。

編集後記

白ギスを追って

強い引きをする白ギスの魅力にとりつかれて、キス釣りを始めたのは、ここ十年のことである。それまでは境水道、弓ヶ浜でその時季の釣り、いわゆる五目釣りを楽しんでいましたが、ある日、W氏との出会いで白ギス釣りの面白さを知り、白ギス一本へと釣りが変わっていった。

まず初めに、仕掛けをキス仕掛けに作り替え、次にロッド、リール、道糸を投げ釣り専用に変更等、あとはいかに遠投（一〇〇m以上）するかである。

釣り方は、引き釣りでアワセは禁物、一回目のアタリがあっても引き続け、二回目、三回目のアタリを待つ。境水道での釣りは、キス釣りに限らずすべての釣りに、必要不可欠なアイテムは潮汐表である。基本的に一日二回ずつ上げ潮（込み潮）、下げ潮が繰り返され、潮の止まる前、動き初めによくアタリ、潮止まりには食いも止まる。その時間帯を潮汐表で見る必要がある。又、海面にできる潮目である。潮目付近にキャストすること。白ギスのシーズンは五月～十一月頃まで。家族でキス釣りを楽しんでみてはいかがでしょうか？

（S．M）

南部町ファミリー・サポート・センターはこんなときにご利用ください。

保育所、幼稚園の開園前及び終了後の子どもの預かり

学童保育終了後や、学校の放課後の預かり

保護者の病気、通院、急用があるとき

冠婚葬祭、参観日、買い物等外出のとき（子ども同伴で出かけにくいとき）

ほっと一息、自分の時間がほしいとき

などなど

あなたも会員登録しませんか？

●南部町在住・在勤の方であれば資格・経験・性別は問いません。
●会員になると自動的にファミリー・サポート・センター補償保険に加入するので安心です。
●入会金・会費はいりません。

登録方法は？

1 まず社協に電話を
2 来所の上、入会手続き
（印鑑・写真が必要です）

子育ての手助けをしてほしい人

●南部町在住または南部町内に勤務している人。
●小学校6年生までの子どものいる人。
★入会申込みをして会員登録をしてあればいつでも利用することができます。

子育てのお手伝いをしたい人

●南部町在住であれば特に資格、経験は問いません。
●心身ともに健康で子どもの好きな方。
●子育ての経験をいかしたい方。
●地域で何かしたいと思っている方。
★援助は原則として援助会員の自宅で行います。

ボラフェス

南部町ボランティア
フェスティバル

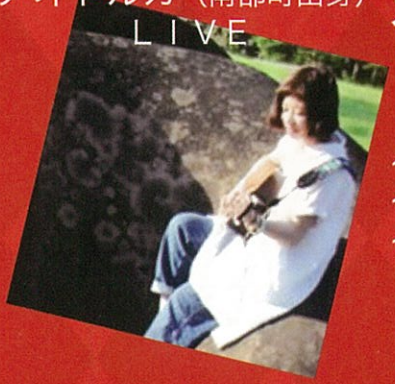
広げよう地域の絆、
つなげよう心とこころ

10.22(SUN)

9:00～13：45

会場：農業者トレーニングセンター
南部町天萬５２６
（駐車場は天萬庁舎駐車場をご利用ください）

ショータイム
アオトルカ（南部町出身）
ＬＩＶＥ



スケジュール
9:00　開会式
　ボランティア功労者表彰式
　5・6級ヘルパー認定式
10:00　ステージイベント
12:00　アオトルカＬＩＶＥ
13:00　抽選会

展示
○いきいきサロン活動紹介
○夏休みボランティア体験報告
○その他地域活動紹介

食べる・楽しむ・ふれあう
○屋台コーナー　○販売コーナー
○あそびコーナー○スタンプラリー 他

主催：南部町ボランティアフェスティバル実行委員会
お問合せ：実行委員会事務局（南部町社会福祉協議会）
ＴＥＬ66-2900　　ＦＡＸ66-2901

赤い羽根共同募金助成金を活用して実施します。